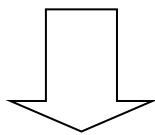


	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・段落とその中心を捉えて文章を読むこと。 ・話を集中して聞き、内容の大体を理解すること。 ・自分の考えや理由について作文を書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読むことについては、段落ごとに区切りながら読み、接続詞や重要な言葉に着目しながら段落ごとの内容を着実に捉えられるようにする。 ・聞くことについては、読み聞かせ活動を行い、最後に登場人物や内容を振り返る時間を設け集中して聞けるようにする。 ・書くことについては、自分が好きなものや状況の説明を根拠をもって作文にまとめられるよう文型を示しながら取り組んでいく。
生活単元	<ul style="list-style-type: none"> ・理科的学習では、実験や体験型学習を行い、日常生活に活かすこと。 ・社会的学習には、体験学習を通じ、産業や歴史に親しみをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科的学習では、柳の森の探検や、理科の分野を活用したおもちゃ作り、実験などの体験学習を充実させ、身の回りの事象のしくみに気付けるようにする。 ・社会的学習では、自分で資料を用いて調べたり、物づくりを体験したりし、基本的な知識や人々の思いを知る。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題に取り組み、場面と計算式を一致させること。 ・時計を読み、時間の感覚をつかむこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に具体物を操作しながら場面を整理したり、キーワードを見つけたりしながら計算式に表せるよう促していく。 ・日常生活と結び付けながら学習に取り組ませることで必要感を高め、時間の感覚をつかませる。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを立てイメージをもてるようにすること。 ・安全に気を付けて作業すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの使用や教員の手本等でイメージをもたせ、見通しを立てて活動を行う。けがをしないよう活動前には道具の使い方を確認すし、安全に活動できるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動を楽しむこと。 ・演奏や歌唱の技能を身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員と一緒に歌い、曲の良さや楽しさに気付かせる。 ・楽譜と楽器に貼る運指のための色シールを対応させ、視覚的な支援をする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解して友達と一緒に運動を楽しむこと。 ・基礎体力を養うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の能力に合わせて役割を決めたり、ルールを単純化したりすることで、見通しをもたせる。 ・教員が児童間の仲介役となり、チームの一員として参加できるようにする。 ・OTと連携し、身体の使い方を知る。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場になって物事を考えられること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像教材を用いることで場面や状況の理解を促す。 ・役割演技を行い、登場人物の気持ちを想像し、自分の状況に置き換えて考えられるようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気を付けながら調理実習や被服実習を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動前に注意事項を伝え、けがのないように活動させる。 ・学習内容を家庭に伝え、日常生活に活かせるようにする。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく外国語に親しみ、単語やフレーズを発音すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌やALTや友達との会話を通じ、自然と英単語が発音できるようにする。
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用して調べ、発表すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員と話し合ったり、選択肢の中から選んだりし、調べたいものを決める。 ・タブレットや本を活用し、視覚的支援を行う。
学級経営	<ul style="list-style-type: none"> ・交流学級において多様な人と関わること。 ・自分の役割を全うし、みんなのために役立つこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とたくさんの関わりがもてるよう、教員が適切な距離感で見守っていく。 ・係活動や委員会活動などの活動を教員が把握し、個別に言葉掛けをすることで個々の力を発揮できるようにする。



	成果○ と 課題▼
国語	○挿絵と結びつけながら、重要な語句と接続詞を考えさせることで、話の内容の理解を促すことができた。また、読書をしようとする児童が増えた。 ▼書くことについては、基本的な型を用いて短い文章を書くことができてきたが、使用する語句に偏りが見られた。読み聞かせや辞書を活用し、語彙を増やしていく。
生活単元算数	○理学的学習では、米の栽培や実験など体験的な学習を充実させることで、自然の変化や身の回りの事象について知る経験を増やすことができた。 ○社会的学習では、ICTを活用し、世界の国について児童が一人で調べることができた。 ▼基礎的な知識だけでなく、日常生活で活用できるような知識を身につけさせていく。
図工	○教員との対話を通じ、自分が作りたいものを自由に表現する姿が見られた。また、道具の使い方を理解し、丁寧に取り扱うことができる児童が増えた。 ▼抽象的なイメージをもつことが難しい場合は、タブレットで作りたいもののイラストを提示するなどしてイメージをもてるようにする。
音楽	○教員と一緒に歌うことで、声の大きさや音程に意識しながら歌う様子が見られた。 ○楽譜と運指を色シールで対応させることで児童が一人で演奏する場面が増えた。 ▼リコーダーを吹くときの息の量や指使いに苦手意識をもつ児童がいた。演奏の様子を動画を撮って振り返ることで、児童自らが演奏のポイントに気付けるようにする。
体育	○児童の能力に合わせて、ルールやめあてを単純化したり、場を設定したりすることで、児童が体育において達成感を感じる場面が増えた。 ▼日常生活において、運動への意欲や体力が低い児童が見られた。中休みや昼休みを活用し、遊びの中から運動の楽しさを見出せるようにする。
道徳	○NHK for school「パンタ銭湯」を見ながら、日常生活をよりよく過ごす方法について考える姿が見られた。 ▼自分の考えを表現することが難しい児童がいた。選択肢を提示したり、表現方法を多様化したりして徐々に自分一人で表現できるようにしていく。
家庭	○活動前に注意事項を伝えることで、けがなく安全に活動することができた。 ○教員が適度な距離感で支援することで、友達と協力しながら取り組む様子が見られた。 ▼授業で習ったことを日常生活に生かそうとする姿がさらに見られるよう、家庭と連携しながら児童が必要感をもてるようにする。
外国語	○英語の歌を繰り返し聴くことで、英単語や表現の仕方を覚えることができた。 ○ルールを明確にすることで見通しをもってゲームに参加することができ、英語を楽しむ姿が見られた。 ▼発表やコミュニケーションを恥ずかしがってしまう児童が見られた。最初は教員と個別に対話をしながら自信をもたせていく。
総合	○繰り返し発表練習を行うことで、学習発表会において学んだことを発表することができた。 ○ICTを活用しながら新聞づくりを行うことで、意欲をもって活動する姿が見られた。 ▼自ら調べることが難しい児童が見られるため、調べ方についても指導しながら取り組ませていく。
学級経営	○新しいことをする時や、なにかに挑戦するときに、まずは自分でやってみようとするが増えた。 ○できるようになったことが増えたことで、係活動や委員会などの役割を、自信をもって行動しようとする姿が見られた。 ▼できるようになったことの定着を図り、さらに習慣化できるよう、今後も支援していく。